

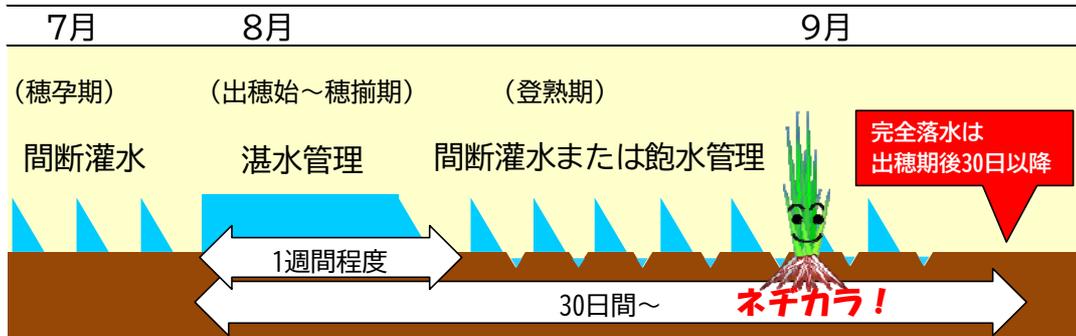
### 緊急号 根力維持の水管理

庄内総合支庁 農業技術普及課  
Tel. 0235-64-2103

**一等米確保 切り札は根力(ネヂカラ)!**  
メリハリ効かせた水管理でネヂカラ維持!

## 1 根力維持のため間断灌水

根力は登熟のメインエンジンです。根力を維持するためには、土壌還元化の軽減と水温・地温の低下が必要です。そのために、湛水と落水を繰り返す間断灌水または飽水管理を徹底しましょう。



### 間断灌水のめやす

- ① 2日間湛水・2日間落水をくりかえす。
- ② ただし圃場の水持ちを考慮して日数を加減。
- ③ 入水は気温低下に向かう夕方が効果的。

### NG! 水のためっぱなし

- ① 土壌が還元化 (有害物質発生等) するため根腐れしやすくなる (出穂期以降、土壌還元に対する根の抵抗力は低下)・・・根力ダウン
- ② 昼も夜も水温・地温が高いままとなり、稲体の呼吸量 (光合成産物の消費) が多くなる (根の吸水にも光合成産物が必要)・・・根力ダウン

登熟能力が低下し、ちょっとした高温あるいは低温で白未熟粒・くず米が発生

## 2 飽水管理もネヂカラ維持に効果的

“布団”となる水がないため、夜間は湛水状態よりも地温が下がりやすくなります。夜間の高温が見込まれる場合に有効です。

田の土が露出している場合、足跡に水がしみだしてくる水分があれば登熟に影響はありません (右図)。



飽水管理

節水にも!

## 3 用水は効率的に使いましょう!

作溝は灌水・排水のための圃場の“血管”です。必要に応じて修繕しましょう。地域の皆さんが用水を使えるように、かけ流しは避けましょう。

強風やフェーンの時 イネの消耗を軽減するために、一時的に 3~5cm の湛水管理に切り替え

**熱中症予防強化月間** 定期的に水分・塩分と休憩を取りましょう

